

第3章

地区分析

第3章 地区分析

第3章は第2章で分析した「集計結果に基づくビジョンに関連した分析結果」に基づき、ビジョン達成のために関係性があると思われる項目をさらに細分化し、圏域ごとに、各地区における「地区の現状」「高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析」「要介護者の在宅生活継続に係るニーズ」をカルテ形式により指標化して分析しました。

なお、表内で「指標となる項目」及び「調査結果（％）」にアンダーラインが引いている箇所については、「調査結果（％）」の数値の低い方が順位が高く、アンダーラインを引いていない箇所については、「調査結果（％）」の数値の高い方が順位が高くなっています。

第一圏域（なでしこ）

1 「出羽地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
6,699		2,204		32.9 (30.4)	934	1,270	57.6 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
1,812	38	83	271	16.1 (16.1)	120	5.4 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.3	9	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	76.4	10	
77.4					
サービス事業対象者	5.9	5.3	12		
	5.5				
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		35.5	14
		36.0	35.0		
		参加者としての社会参加意向がある		63.5	12
		62.2	62.2		
		生きがいがある		64.1	6
		61.1	60.8		
		週に何度か以上友人・知人と会う		36.9	4
		33.4	35.5		
		週二回以上外出している		82.7	13
		81.7	79.2		
		何らかの地域活動へ参加している		67.6	11
		66.8	64.6		
		①ボランティアのグループに参加している		11.3	25
13.8	14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		18.6	21		
20.2	17.9				
③趣味関係のグループに参加している		24.3	21		
26.4	24.1				
④学習・教養サークルに参加している		6.3	25		
8.0	6.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第一圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.0	14
		7.1		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.3	18
		3.8		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	37.9	8	
	33.8			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.9	10	
	28.1			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.8	14
		62.6		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.7	17
		75.8		
15分以上の歩行をしている	66.8	66.1	17	
	62.7			
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.6	22
		30.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3
		25.3		
	口の渇きが気になる	25.0	21.3	4
		22.3		
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.4	23
		91.2		
	過去一年間で転倒していない	68.0	71.4	4
		68.9		
	健康への関心がある	90.1	91.4	5
		90.0		
	外出を控えている	25.9	24.6	9
		27.2		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	14.9	21
		12.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.1	2
		80.3		
	IADLの低下に該当	5.2	5.0	12
		6.2		
知的能動性の低下に該当	12.5	11.0	9	
	13.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.7	7	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.0	14	
	13.2			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.0	17	
	0.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.6	12	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.2	10
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.2	4
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	40.5	1
			44.1		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			81.1		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	58.0	25	
		61.1			
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	20.2	28
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	17.8	17
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.4	4
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	20.2	25
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	68.2	7
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	71.3	22
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	4.7	15
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	31.0	28
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.5	7
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	15.4	22
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.5	12
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.0		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	11.3	25
			14.0		
		地域で支援できることがある	69.5	75.1	4
			71.3		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	30.2	13	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	10.1	調理	6.2	掃除・洗濯	16.3
買い物	14.0	ゴミ出し	11.6	外出同行	27.1
移送サービス	23.3	見守り、声かけ	18.6	通いの場	10.9
その他	2.3	特になし	30.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.6	36.5
声かけ	24.8	42.2
外出同行	8.5	6.6
雪かき	27.9	19.3
庭の手入れ	15.5	12.6
ゴミ出し	10.9	18.6
買物	9.3	12.6
調理	3.1	5.0
掃除	4.7	14.3
着替え	0.8	2.0
季節用品の入替	0.8	2.7
電球交換	0.8	7.0
特になし(できない)	27.1	25.6
その他	2.3	0.7

第一圏域（なでしこ）

2 「大郷地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
3,980	1,564	39.3 (30.4)	729	835	53.4 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,188	28	64	284	22.3 (16.1)	158	10.1 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第一圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.0	6
		14.4		
	介護予防事業対象者	77.7	77.2	12
		77.4		
	サービス事業対象者	5.9	4.6	7
		5.5		
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
		35.0		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
		62.2		
	生きがいがある	61.1	61.6	15
		60.8		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.2	8
		35.5		
	週二回以上外出している	81.7	78.5	22
		79.2		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.0	21
		64.6		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	17.9	23	
	17.9			
③趣味関係のグループに参加している	26.4	22.1	24	
	24.1			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.8	21	
	6.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
			第一圏域(%)				
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	4.9	28		
			7.1				
		⑥老人クラブに参加している	4.7			2.9	22
			3.8				
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	34.5	15			
		33.8					
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	30.9	6			
		28.1					
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.5	9			
		62.6					
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.5	19			
		75.8					
	15分以上の歩行をしている	66.8	63.2	20			
		62.7					
介護予防・生活 支援の視点	固いものが <u>食べにくくなった</u>	30.0	34.5	28			
		30.8					
	お茶や汁物で <u>むせる</u>	25.5	30.3	30			
		25.3					
	口の <u>渇きが気になる</u>	25.0	24.8	14			
		22.3					
	毎日 <u>歯磨き</u> をしている	91.9	91.9	19			
		91.2					
	過去一年間で <u>転倒</u> していない	68.0	68.7	12			
		68.9					
	健康への <u>関心</u> がある	90.1	89.9	17			
		90.0					
	外出を <u>控えている</u>	25.9	28.0	26			
		27.2					
	外出を <u>控えている</u> <u>（交通手段がない理由のみ）</u>	12.7	10.5	9			
		12.9					
	月に <u>何度か以上誰かと食事</u> をする	78.2	79.8	10			
		80.3					
	I A D Lの <u>低下に該当</u>	5.2	6.8	25			
		6.2					
知的能動性の <u>低下に該当</u>	12.5	14.3	22				
	13.0						
何らかの介護予防 <u>リスクに該当</u>	84.3	83.1	9				
	83.8						
①運動器の機能低下 <u>リスクに該当</u>	12.5	14.7	24				
	13.2						
②低栄養の傾向 <u>リスクに該当</u>	1.0	0.7	12				
	0.6						
③口腔機能の低下 <u>リスクに該当</u>	22.2	24.8	25				
	21.5						

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般 高齢者 のビ ジ ョ ン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.1	27
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.2	4
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.0	16
			44.1		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.8	15	
		81.1			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.0	4	
		61.1			
要 介 護 者 等 の ビ ジ ョ ン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	23.6	24
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	18.0	14
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.5	26
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	23.6	15
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	49.4	30
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	67.4	26
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にはない	5.1	2.2	25
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.1	20
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	68.4	24
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	9.7	6
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.0		
ボランティアのグループに参加している		13.8	15.6	7	
		14.0			
地域で支援できることがある		69.5	76.2	3	
		71.3			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	23.6	25	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.9	調理	12.4	掃除・洗濯	19.1
買い物	14.6	ゴミ出し	15.7	外出同行	25.8
移送サービス	34.8	見守り、声かけ	19.1	通いの場	15.7
その他	6.7	特にない	18.0		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	22.5	38.8
声かけ	22.5	37.1
外出同行	3.4	7.2
雪かき	24.7	18.6
庭の手入れ	11.2	15.3
ゴミ出し	12.4	16.6
買物	5.6	14.0
調理	2.2	3.6
掃除	5.6	19.2
着替え	1.1	3.3
季節用品の入替	1.1	4.2
電球交換	1.1	9.1
特にない(できない)	31.5	23.1
その他	0.0	2.6

第一圏域（なでしこ）

3 「明治地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,988	726	36.5 (30.4)	374	352	48.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
624	7	23	72	13.1 (16.1)	21	2.9 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.7	25	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
	サービス事業対象者	77.4			
		5.9	6.9	23	
		5.5			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.2	17
			35.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14
			62.2		
		生きがいがある	61.1	56.7	27
			60.8		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.6	7
			35.5		
		週二回以上外出している	81.7	74.1	27
			79.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	62.8	26
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.0	19
	14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	14.6	28		
	17.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	21.5	26		
	24.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.5	24		
	6.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.7	19
			7.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.0	
			3.8		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.0		
		33.8			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5		
		28.1			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.9	26	
		62.6			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.5		
		75.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	57.9		
		62.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.8	19	
		30.8			
	お茶や汁物でむせる	25.5	20.2		
		25.3			
	口の渇きが気になる	25.0	17.8		
		22.3			
	毎日歯磨きをしている	91.9	89.5		
		91.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.2		
		68.9			
	健康への関心がある	90.1	88.3		
		90.0			
	外出を控えている	25.9	28.7		
		27.2			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.9		
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.2		
		80.3			
	IADLの低下に該当	5.2	8.1		
		6.2			
知的能動性の低下に該当	12.5	14.6			
	13.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.7			
	83.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	15.4			
	13.2				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.4			
	0.6				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.2			
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	36.4	21
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.9	28
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.5	14
			44.1		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.6	2	
		81.1			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	57.4	26	
		61.1			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	20.0	29
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	20.0	10
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	2.9	29
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.9	17
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.7	12
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	80.0	4
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	2.9	22
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.9	9
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	85.7	2
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	16.0	24
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.8	14
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.2	17
			35.0		
ボランティアのグループに参加している		13.8	13.0	19	
		14.0			
地域で支援できることがある		69.5	64.0	27	
		71.3			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	42.9	2	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.0	調理	8.6	掃除・洗濯	20.0
買い物	17.1	ゴミ出し	14.3	外出同行	34.3
移送サービス	22.9	見守り、声かけ	22.9	通いの場	14.3
その他	5.7	特になし	28.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.6	27.1
声かけ	28.6	32.4
外出同行	20.0	5.3
雪かき	22.9	18.2
庭の手入れ	8.6	11.3
ゴミ出し	11.4	14.2
買物	11.4	13.0
調理	2.9	4.0
掃除	5.7	11.3
着替え	2.9	2.0
季節用品の入替	2.9	0.8
電球交換	8.6	6.9
特になし(できない)	40.0	32.0
その他	0.0	3.2

第一圏域（なでしこ）

4 「千歳地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
8,269	2,652	32.1 (30.4)	1,142	1,510	56.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
2,086	44	116	406	19.7 (16.1)	196	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.2	13	
		14.4			
	介護予防事業対象者	77.7	77.4	13	
		77.4			
	サービス事業対象者	5.9	5.7	14	
		5.5			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.6	22
			35.0		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20
			62.2		
		生きがいがある	61.1	60.1	20
			60.8		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.6	11
			35.5		
		週二回以上外出している	81.7	80.5	21
			79.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	62.7	27
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.7	6
	14.0				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.8	16		
	17.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.0	12		
	24.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.9	20		
	6.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.9	23
			7.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	5.0	11
			3.8		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.4	23	
		33.8			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	25.2	25	
		28.1			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	60.7	25	
		62.6			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.2	24	
		75.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	62.9	21	
		62.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	26.4	4	
		30.8			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.4	19	
		25.3			
	口の渇きが気になる	25.0	24.5	11	
		22.3			
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.8	20	
		91.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.9	16	
		68.9			
	健康への関心がある	90.1	90.3	15	
		90.0			
	外出を控えている	25.9	27.7	22	
		27.2			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.2	7	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.2	13	
		80.3			
	IADLの低下に該当	5.2	5.3	14	
		6.2			
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12		
	13.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.0	12		
	83.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.3	11		
	13.2				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5		
	0.6				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.8	9		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第一圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	36.5	22
			35.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.6	7
			51.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.2	21
			44.1		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.5	13
			81.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.1	14
61.1					
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	25.8	22
			23.2		
		訪問診療を利用している	18.2	13.2	29
			16.1		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	10.4	9
			9.2		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	20.9	24
			21.4		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	64.3	15
			62.5		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.9	10
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.5	9
			4.4		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.6	21
			28.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.1	8
			77.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	12.0	16
			12.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.7	20
			62.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.6	22
			35.0		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.7	6
			14.0		
		地域で支援できることがある	69.5	68.6	16
71.3					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	26.9	22	
		28.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.6	調理	13.7	掃除・洗濯	19.8
買い物	20.3	ゴミ出し	14.3	外出同行	26.9
移送サービス	22.5	見守り、声かけ	19.8	通いの場	16.5
その他	4.9	特になし	19.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.5	32.7
声かけ	29.1	35.8
外出同行	5.5	5.7
雪かき	30.8	17.3
庭の手入れ	13.2	9.1
ゴミ出し	11.0	15.7
買物	9.3	12.9
調理	5.5	6.6
掃除	7.7	14.2
着替え	2.7	2.5
季節用品の入替	6.6	1.9
電球交換	9.3	7.9
特になし(できない)	33.0	28.9
その他	2.2	2.5

第二圏域（大森）

1 「楯山地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,640	1,741	37.5 (30.4)	793	948	54.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,467	26	56	192	14.2 (16.1)	67	3.8 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	18.0	3	
		13.0			
	介護予防事業対象者	77.7	76.0	7	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	3.6	1	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.8	29
			33.4		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.4	21
			59.3		
		生きがいがある	61.1	63.3	8
			59.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	39.3	3
			37.9		
		週二回以上外出している	81.7	82.2	15
			76.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.7	19
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
	15.6				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	15.1	27		
	11.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	26.3	16		
	22.5				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.2	26		
	5.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5 6.8	3.6	30
		⑥老人クラブに参加している	4.7 5.0	5.9	7
		⑦町内会・自治会に参加している	33.0 39.3	36.7	10
		⑧収入のある仕事に参加している	27.5 27.0	25.7	24
	社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4 60.5	61.5	21
		椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4 72.8	75.4	23
		15分以上の歩行をしている	66.8 61.7	62.7	22
	介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0 34.4	32.5	24
お茶や汁物でむせる			25.5 27.0	23.4	6
口の渇きが気になる		25.0 26.5	24.9	15	
		毎日歯磨きをしている	91.9 89.1	92.6	14
過去一年間で転倒していない		68.0 63.0	68.3	14	
		健康への関心がある	90.1 87.7	89.3	21
外出を控えている		25.9 29.1	27.5	21	
		外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7 14.6	17.2	27
月に何度か以上誰かと食事をする		78.2 77.1	80.5	7	
		IADLの低下に該当	5.2 6.7	5.6	17
知的能動性の低下に該当		12.5 15.1	12.7	15	
		何らかの介護予防リスクに該当	84.3 86.0	80.5	4
①運動器の機能低下リスクに該当			12.5 16.1	14.8	25
		②低栄養の傾向リスクに該当	1.0 0.8	1.2	19
③口腔機能の低下リスクに該当			22.2 25.5	21.6	12

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	34.3	19
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	49.1	3
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.5	8
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.1	10
			79.1		
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.3	18	
		58.4			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.5	12
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	14.7	23
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.2	27
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	64.2	16
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.8	13
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.3	11
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.2	12
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	74.4	19
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	16.9	25
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.4	21
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.8	29
			33.4		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
			15.6		
地域で支援できることがある		69.5	64.2	25	
		67.1			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	34.7	7	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.9	調理	15.8	掃除・洗濯	22.1
買い物	14.7	ゴミ出し	14.7	外出同行	27.4
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	17.9	通いの場	10.5
その他	8.4	特になし	21.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	26.3	28.4
声かけ	31.6	36.7
外出同行	5.3	8.0
雪かき	24.2	15.7
庭の手入れ	7.4	11.8
ゴミ出し	10.5	15.7
買物	12.6	15.1
調理	4.2	6.5
掃除	7.4	16.3
着替え	1.1	5.3
季節用品の入替	0.0	3.6
電球交換	3.2	8.3
特になし(できない)	38.9	33.4
その他	0.0	1.8

第二圏域（大森）

2 「高瀬地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
3,174	1,351	42.6 (30.4)	586	765	56.6 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,030	23	43	255	22.1 (16.1)	169	12.5 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第二圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	9.0	30
		13.0		
	介護予防事業対象者	77.7	81.9	28
80.0				
サービス事業対象者	5.9	6.8	22	
	5.1			
一般 高齢者 の ビジョン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.7	9
		33.4		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.6	19
		59.3		
	生きがいがある	61.1	61.0	18
		59.4		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	40.3	2
		37.9		
	週二回以上外出している	81.7	73.9	28
		76.0		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.8	24
		64.6		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.5	4
15.6				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	10.3	29	
	11.6			
③趣味関係のグループに参加している	26.4	19.4	30	
	22.5			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	5.5	28	
	5.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.7	8
			6.8		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	5.8	8
			5.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	37.7	9	
		39.3			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.1	14	
		27.0			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.9	19	
		60.5			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	70.6	30	
		72.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	61.6	24	
		61.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	32.3	23	
		34.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	30.0	29	
		27.0			
	口の渇きが気になる	25.0	26.1	21	
		26.5			
	毎日歯磨きをしている	91.9	88.1	27	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	57.1	30	
		63.0			
	健康への関心がある	90.1	88.4	23	
		87.7			
	外出を控えている	25.9	30.6	29	
		29.1			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	8.4	3	
		14.6			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.5	26	
		77.1			
	IADLの低下に該当	5.2	6.5	23	
		6.7			
知的能動性の低下に該当	12.5	17.1	30		
	15.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	89.4	29		
	86.0				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	15.5	28		
	16.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9		
	0.8				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	25.5	27		
	25.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.4	28
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.2	26
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	48.4	28
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.6	9
			79.1		
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	58.1	24	
		58.4			
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	23.2	25
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	17.9	15
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.9	15
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.0	13
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	60.7	22
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	69.6	23
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.6	18
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	32.1	29
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	4.9	3
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.6	19
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.7	9
			33.4		
ボランティアのグループに参加している		13.8	16.5	4	
		15.6			
地域で支援できることがある		69.5	69.4	14	
		67.1			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.1	11	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	12.5	調理	8.9	掃除・洗濯	10.7
買い物	19.6	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.1
移送サービス	28.6	見守り、声かけ	21.4	通いの場	12.5
その他	7.1	特になし	19.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.9	27.4
声かけ	39.3	36.8
外出同行	3.6	9.4
雪かき	26.8	17.4
庭の手入れ	10.7	16.1
ゴミ出し	7.1	15.5
買物	5.4	12.6
調理	3.6	7.7
掃除	5.4	15.5
着替え	0.0	4.2
季節用品の入替	1.8	1.9
電球交換	7.1	5.8
特になし(できない)	35.7	25.8
その他	1.8	1.9

第二圏域（大森）

3 「山寺地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,038	509	49.0 (30.4)	247	262	51.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
421	12	18	58	14.9 (16.1)	24	4.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27	
		13.0			
	介護予防事業対象者	77.7	84.3	30	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	5.1	10	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.9	28
			33.4		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	53.4	29
			59.3		
		生きがいがある	61.1	49.4	30
			59.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.9	21
			37.9		
		週二回以上外出している	81.7	68.0	30
			76.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.9	22
			64.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.3	5
			15.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	7.3	30		
	11.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.8	28		
	22.5				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	4.5	30		
	5.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.9	18
			6.8		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27
			5.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	47.2	1	
		39.3			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5	16	
		27.0			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	56.2	30	
		60.5			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	71.3	29	
		72.8			
	15分以上の歩行をしている	66.8	60.1	25	
		61.7			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	41.6	30	
		34.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	28.7	28	
		27.0			
	口の渇きが気になる	25.0	30.3	28	
		26.5			
	毎日歯磨きをしている	91.9	84.3	30	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	62.9	28	
		63.0			
	健康への関心がある	90.1	83.1	30	
		87.7			
	外出を控えている	25.9	29.2	28	
		29.1			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	21.2	30	
		14.6			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	73.6	30	
		77.1			
	IADLの低下に該当	5.2	9.0	30	
		6.7			
知的能動性の低下に該当	12.5	16.3	29		
	15.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	90.2	30		
	86.0				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	19.7	30		
	16.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9		
	0.8				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	33.1	30		
	25.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	43.8	30
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	54.5	24
			52.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	49.4	29
			46.6		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	70.8	30
			79.1		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	53.3	30
			58.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	21.7	26
			26.4		
		訪問診療を利用している	18.2	26.1	2
			17.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.7	16
			6.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	17.4	29
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	78.3	2
			64.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	52.2	30
			70.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	8.7	1
			24.7		
		仕事と介護を両立できる	74.3	83.3	4
			75.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	0.0	1
			11.0		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	53.4	29
			59.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	30.9	28
			33.4		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	16.3	5
			15.6		
		地域で支援できることがある	69.5	68.5	17
			67.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	47.8	1	
		35.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.4	調理	8.7	掃除・洗濯	13.0
買い物	17.4	ゴミ出し	8.7	外出同行	30.4
移送サービス	8.7	見守り、声かけ	21.7	通いの場	13.0
その他	0.0	特になし	30.4		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	30.4	30.9
声かけ	21.7	35.4
外出同行	17.4	7.9
雪かき	21.7	24.2
庭の手入れ	8.7	15.2
ゴミ出し	13.0	19.1
買物	13.0	15.2
調理	8.7	4.5
掃除	13.0	18.0
着替え	4.3	0.0
季節用品の入替	8.7	2.8
電球交換	13.0	12.4
特になし(できない)	34.8	31.5
その他	4.3	1.1

第三圏域（敬寿会）

1 「鈴川地区」

(1) 地区の現状

表中（ ）は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
18,269	5,475	30.0 (30.4)	2,415	3,060	55.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
4,521	90	212	652	15.8 (16.1)	250	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第三圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.1	15	
		14.1			
	介護予防事業対象者	77.7	73.4	3	
73.4					
サービス事業対象者	5.9	9.0	30		
	9.0				
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		34.8	20
		36.0	34.8		
		参加者としての社会参加意向がある		58.2	24
		62.2	58.2		
		生きがいがある		59.6	21
		61.1	59.6		
		週に何度か以上友人・知人と会う		32.2	19
		33.4	32.2		
		週二回以上外出している		77.4	24
		81.7	77.4		
		何らかの地域活動へ参加している		61.0	30
		66.8	61.0		
		①ボランティアのグループに参加している		10.9	28
		13.8	10.9		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		21.0	14		
20.2	21.0				
③趣味関係のグループに参加している		22.1	24		
26.4	22.1				
④学習・教養サークルに参加している		6.6	23		
8.0	6.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第三圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.4	26
			6.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.5	13
			4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.1	24	
		27.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	23.7	27	
		23.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.2	6	
		66.2			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.8	21	
75.8					
15分以上の歩行をしている	66.8	68.1	13		
	68.1				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.4	21	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.3	13	
		25.3			
	口の渇きが気になる	25.0	25.3	19	
		25.3			
	毎日歯磨きをしている	91.9	90.2	24	
		90.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.9	10	
		68.9			
	健康への関心がある	90.1	90.7	13	
		90.7			
	外出を控えている	25.9	27.7	22	
		27.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	7.7	1	
		7.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	81.9	4	
		81.9			
IADLの低下に該当	5.2	6.6	24		
	6.6				
知的能動性の低下に該当	12.5	15.2	27		
	15.2				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	83.4	11		
	83.4				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.5	17		
	12.5				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	2.9	30		
	2.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	23.4	21		
	23.4				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第三圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	34.6	20
			34.6		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.9	16
			52.9		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.7	19
			45.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.5	28
			75.5		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	60.0	22	
		60.0			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.2	19
			27.2		
		訪問診療を利用している	18.2	12.6	30
			12.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.7	16
			8.7		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.5	19
			22.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	62.9	20
			62.9		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	72.2	20
			72.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	4.5	16
			4.5		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.3	13
			24.3		
		仕事と介護を両立できる	74.3	73.0	20
			73.0		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	10.2	9
			10.2		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.2	24
			58.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.8	20
			34.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
			10.9		
		地域で支援できることがある	69.5	62.0	29
			62.0		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.1	17	
		28.1			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.8	調理	15.9	掃除・洗濯	23.7
買い物	20.7	ゴミ出し	14.1	外出同行	32.3
移送サービス	28.4	見守り、声かけ	22.8	通いの場	17.7
その他	6.9	特になし	21.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	29.6	24.7
声かけ	29.6	33.5
外出同行	7.2	6.4
雪かき	35.3	19.4
庭の手入れ	11.4	11.2
ゴミ出し	9.3	18.4
買物	8.4	12.8
調理	5.4	6.1
掃除	8.4	14.9
着替え	3.3	2.9
季節用品の入替	3.6	4.3
電球交換	7.2	8.5
特になし(できない)	29.9	34.3
その他	1.5	2.1

第四圏域（たきやま）

1 「滝山地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
23,155	6,215	26.8 (30.4)	3,048	3,167	51.0 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
5,216	116	208	675	14.2 (16.1)	258	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第四圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.5	19	
		13.5			
	介護予防事業対象者	77.7	81.5	27	
		81.5			
	サービス事業対象者	5.9	3.7	2	
		3.7			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5
			39.7		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	68.3	2
			68.3		
		生きがいがある	61.1	63.1	10
			63.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.2	12
			33.2		
		週二回以上外出している	81.7	84.3	9
			84.3		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	71.8	4
			71.8		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
	14.5				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.6	4		
	24.6				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.1	3		
	31.1				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	11.1	3		
	11.1				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第四圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.9	15
			8.9		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	4.6	12
			4.6		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.5	27	
		25.5			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.3	13	
		28.3			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	64.9	12	
		64.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.5	4	
		81.5			
	15分以上の歩行をしている	66.8	72.0	5	
		72.0			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.2	14	
		30.2			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.5	21	
		26.5			
	口の渇きが気になる	25.0	25.2	18	
		25.2			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6	
		93.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.5	7	
		69.5			
	健康への関心がある	90.1	94.2	2	
		94.2			
	外出を控えている	25.9	22.8	5	
		22.8			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.2	25	
		16.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.0	22	
		76.0			
	IADLの低下に該当	5.2	1.5	1	
		1.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	10.5	7		
	10.5				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.2	23		
	86.2				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.5	5		
	10.5				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5		
	0.3				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.2	15		
	22.2				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第四圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.2	6
			30.2		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			53.5		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.7	9
			43.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.6	11
			80.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	64.2	7
			64.2		
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.4	14
			29.4		
		訪問診療を利用している	18.2	25.9	3
			25.9		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.4	13
			9.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	21.2	22
			21.2		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.0	5
			70.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.8	11
			76.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			6.5		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	27.1	18
			27.1		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			75.0		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	10.5	10
			10.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	68.3	2
			68.3		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.7	5
			39.7		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.5	14
			14.5		
		地域で支援できることがある	69.5	76.9	2
			76.9		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.0	6	
		35.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	16.2	掃除・洗濯	18.5
買い物	17.9	ゴミ出し	14.4	外出同行	27.9
移送サービス	32.4	見守り、声かけ	21.8	通いの場	14.1
その他	7.4	特になし	19.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	26.5	35.4
声かけ	23.8	42.5
外出同行	6.2	7.1
雪かき	28.8	17.5
庭の手入れ	7.6	12.6
ゴミ出し	9.4	17.5
買物	7.6	15.4
調理	2.1	8.0
掃除	3.5	12.6
着替え	1.2	1.5
季節用品の入替	1.5	1.8
電球交換	4.4	7.1
特になし(できない)	32.9	24.9
その他	2.4	2.5

第五圏域（ふれあい）

1 「第六地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
13,403	3,956	29.5 (30.4)	1,762	2,194	55.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
3,219	83	154	500	16.5 (16.1)	205	5.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第五圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	19.4	1	
		19.4			
	介護予防事業対象者	77.7	71.3	1	
71.3					
サービス事業対象者	5.9	6.5	20		
	6.5				
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		32.6	24
		36.0	32.6		
		参加者としての社会参加意向がある		58.1	25
		62.2	58.1		
		生きがいがある		59.2	23
		61.1	59.2		
		週に何度か以上友人・知人と会う		28.2	30
		33.4	28.2		
		週二回以上外出している		86.2	4
		81.7	86.2		
		何らかの地域活動へ参加している		63.9	22
		66.8	63.9		
		①ボランティアのグループに参加している		14.7	12
13.8	14.7				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		22.6	7		
20.2	22.6				
③趣味関係のグループに参加している		28.4	10		
26.4	28.4				
④学習・教養サークルに参加している		10.0	7		
8.0	10.0				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第五圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.4	11
			9.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	3.5	17
			3.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	23.2	29	
		23.2			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	21.4	29	
		21.4			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.3	5	
		66.3			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.1	15	
77.1					
15分以上の歩行をしている	66.8	69.8	8		
	69.8				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.3	1	
		24.3			
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.5	7	
		23.5			
	口の渇きが気になる	25.0	23.8	7	
		23.8			
	毎日歯磨きをしている	91.9	89.1	26	
		89.1			
	過去一年間で転倒していない	68.0	70.4	6	
		70.4			
	健康への関心がある	90.1	90.0	16	
		90.0			
	外出を控えている	25.9	24.9	10	
		24.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.4	4	
		9.4			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.4	27	
		75.4			
	IADLの低下に該当	5.2	5.6	17	
		5.6			
知的能動性の低下に該当	12.5	9.7	3		
	9.7				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	79.1	2		
	79.1				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.3	4		
	10.3				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.9	15		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.2	2		
	18.2				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第五圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	28.7	3
			28.7		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	44.0	1
			44.0		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.7	9
			43.7		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.6	17
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.7	11
			62.7		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.6	10
			29.6		
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	8
			20.2		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.3	5
			12.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.9	17
			22.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.6	13
			65.6		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.5	15
			75.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	8.3	1
			8.3		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	27.3	19
			27.3		
		仕事と介護を両立できる	74.3	79.1	8
			79.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.6	14
			11.6		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	58.1	25
			58.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.6	24
			32.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.7	12
			14.7		
		地域で支援できることがある	69.5	64.2	25
			64.2		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	25.3	24	
		25.3			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.6	調理	14.6	掃除・洗濯	21.3
買い物	20.6	ゴミ出し	14.6	外出同行	27.3
移送サービス	24.1	見守り、声かけ	23.3	通いの場	13.4
その他	7.1	特になし	20.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	25.7	26.7
声かけ	23.3	33.7
外出同行	7.5	6.2
雪かき	27.3	17.6
庭の手入れ	6.3	8.8
ゴミ出し	8.7	20.2
買物	4.3	12.9
調理	4.0	4.4
掃除	4.7	11.1
着替え	0.4	2.1
季節用品の入替	2.0	2.1
電球交換	7.1	8.2
特になし(できない)	38.3	34.3
その他	1.2	4.1

第六圏域（山形西部）

1 「南山形地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
10,007		2,514		25.1 (30.4)	1,246	1,268	50.4 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,111	31	81	291	14.8 (16.1)	150	6.0 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.0	10	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.0	15	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	4.6	7	
		5.1			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.5	13
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.9	8
			61.1		
		生きがいがある	61.1	61.1	16
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	35.1	9
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	81.8	16
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	70.8	5
			68.9		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.0	27
			14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	20.1	15		
	18.4				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	23.3	22		
	24.3				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.2	16		
	8.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第六圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.7	8
		10.4		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	5.6	10
		4.0		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.2	6	
	41.1			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	29.2	9	
	30.3			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.0	15
		62.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	75.6	22
76.0				
15分以上の歩行をしている	66.8	69.4	10	
	62.5			
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.2	10
		31.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.9	11
		25.7		
	口の渇きが気になる	25.0	26.5	22
		24.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.5	15
		90.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.2	9
		67.6		
	健康への関心がある	90.1	91.2	6
		88.6		
	外出を控えている	25.9	24.1	8
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	17.8	28
		15.2		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.9	23
		78.4		
	IADLの低下に該当	5.2	5.4	15
6.5				
知的能動性の低下に該当	12.5	9.9	4	
	12.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.8	8	
	85.5			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.0	8	
	13.0			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.2	11	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.2	13
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.0	11
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.4	7
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.6	17
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.1	2
			60.7		
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	24.6	23
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	15.6	22
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	10.7	8
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	18.0	28
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	60.7	22
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	73.0	18
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	5.7	8
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	19.7	4
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	66.7	26
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.0	11
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.9	8
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.5	13
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	11.0	27
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	74.5	5
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	29.5	15	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	16.4	調理	13.1	掃除・洗濯	18.9
買い物	13.9	ゴミ出し	18.9	外出同行	29.5
移送サービス	26.2	見守り、声かけ	22.1	通いの場	18.0
その他	5.7	特にない	17.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.9	32.2
声かけ	31.1	42.1
外出同行	4.9	8.3
雪かき	27.0	16.9
庭の手入れ	4.9	14.2
ゴミ出し	11.5	21.2
買物	6.6	15.3
調理	5.7	6.7
掃除	5.7	19.8
着替え	1.6	3.2
季節用品の入替	2.5	3.8
電球交換	1.6	9.1
特にない(できない)	27.9	23.9
その他	2.5	2.7

第六圏域（山形西部）

2 「本沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
2,774	1,157	41.7 (30.4)	557	600	51.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
917	24	35	181	18.7 (16.1)	107	9.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	83.7	29	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	4.3	4	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		37.0	10
		36.0	35.6		
		参加者としての社会参加意向がある		65.4	6
		62.2	61.1		
		生きがいがある		65.0	4
		61.1	61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う		32.7	16
		33.4	35.4		
		週二回以上外出している		78.2	23
		81.7	79.0		
		何らかの地域活動へ参加している		72.0	3
		66.8	68.9		
		①ボランティアのグループに参加している		17.1	2
		13.8	14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		17.1	25		
20.2	18.4				
③趣味関係のグループに参加している		26.8	15		
26.4	24.3				
④学習・教養サークルに参加している		8.9	11		
8.0	8.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	15.6	1
			10.4		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.9	25
			4.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	43.2	3	
		41.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.1	5	
		30.3			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	62.3	18	
		62.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.7	17	
		76.0			
	15分以上の歩行をしている	66.8	62.3	23	
		62.5			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.0	12	
		31.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.1	18	
		25.7			
	口の渇きが気になる	25.0	18.7	2	
		24.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.4	5	
		90.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	63.0	27	
		67.6			
	健康への関心がある	90.1	89.5	18	
		88.6			
	外出を控えている	25.9	27.2	19	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15	
		15.2			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.2	8	
		78.4			
	IADLの低下に該当	5.2	7.0	26	
		6.5			
知的能動性の低下に該当	12.5	10.9	8		
	12.0				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	88.7	28		
	85.5				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.2	19		
	13.0				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.9	27		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	19.1	5		
	21.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.9	17
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	57.2	30
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.4	5
			44.2		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.9	1	
		79.7			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.9	16	
		60.7			
要介護者等 のビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	19.6	30
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	13.7	27
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.8	10
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	7.8	30
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	51.0	28
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	66.7	27
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.9	17
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	23.5	10
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	78.9	10
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	8.6	5
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.4	6
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
			35.6		
ボランティアのグループに参加している		13.8	17.1	2	
		14.3			
地域で支援できることがある		69.5	72.4	10	
		72.7			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	23.5	26	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	11.8	調理	11.8	掃除・洗濯	15.7
買い物	9.8	ゴミ出し	9.8	外出同行	19.6
移送サービス	7.8	見守り、声かけ	13.7	通いの場	13.7
その他	13.7	特になし	33.3		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	37.3	34.6
声かけ	25.5	38.1
外出同行	2.0	10.1
雪かき	23.5	17.9
庭の手入れ	7.8	12.1
ゴミ出し	5.9	14.0
買物	9.8	17.9
調理	0.0	7.4
掃除	0.0	11.7
着替え	0.0	2.7
季節用品の入替	0.0	2.7
電球交換	3.9	9.7
特になし(できない)	25.5	28.0
その他	2.0	1.9

第六圏域（山形西部）

3 「大曾根地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,249	539	43.2 (30.4)	254	285	52.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
424	12	20	83	19.1 (16.1)	44	8.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
		第六圏域(%)				
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.2	21		
		12.9				
	介護予防事業対象者	77.7	80.2	22		
		80.0				
	サービス事業対象者	5.9	6.0	16		
		5.1				
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30	
			35.6			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	51.1	30	
			61.1			
		生きがいがある	61.1	62.1	13	
			61.1			
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.8	23	
			35.4			
		週二回以上外出している	81.7	76.9	25	
			79.0			
		何らかの地域活動へ参加している		66.8	62.6	28
				68.9		
		①ボランティアのグループに参加している		13.8	12.1	23
				14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		20.2	18.1	22		
		18.4				
③趣味関係のグループに参加している		26.4	20.9	27		
		24.3				
④学習・教養サークルに参加している		8.0	7.1	18		
		8.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第六圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	4.9	28
		10.4		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	1.6	29
		4.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.7	5
		41.1		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	30.8	7
		30.3		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.0	24
		62.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	72.5	28
		76.0		
	15分以上の歩行をしている	66.8	59.9	27
		62.5		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	36.8	29
		31.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.7	10
		25.7		
	口の渇きが気になる	25.0	26.9	23
		24.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	84.6	29
		90.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	71.4	4
		67.6		
	健康への関心がある	90.1	85.2	29
		88.6		
	外出を控えている	25.9	26.9	18
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.2	7
		15.2		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.1	14
		78.4		
	IADLの低下に該当	5.2	7.7	27
		6.5		
知的能動性の低下に該当	12.5	14.3	22	
	12.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.7	25	
	85.5			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	17.6	29	
	13.0			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	2.2	28	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.9	10	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	37.4	23
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	50.5	6
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.8	25
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.8	25
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	54.3	29
			60.7		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	27.8	18
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	27.8	1
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	11.1	7
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.2	20
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	50.0	29
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	83.3	2
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	16.7	2
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	77.8	12
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	15.4	22
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	51.1	30
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	29.1	30
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	12.1	23
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	65.9	23
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.8	19	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	22.2	調理	11.1	掃除・洗濯	16.7
買い物	0.0	ゴミ出し	11.1	外出同行	27.8
移送サービス	16.7	見守り、声かけ	22.2	通いの場	11.1
その他	16.7	特になし	11.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.3	29.7
声かけ	38.9	38.5
外出同行	0.0	8.2
雪かき	27.8	17.0
庭の手入れ	16.7	12.6
ゴミ出し	5.6	13.2
買物	5.6	13.7
調理	0.0	6.6
掃除	0.0	12.1
着替え	0.0	2.2
季節用品の入替	5.6	2.2
電球交換	0.0	9.9
特になし(できない)	22.2	29.7
その他	0.0	2.7

第六圏域（山形西部）

4 「西山形地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
1,914		872		45.6 (30.4)	388	484	55.5 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
669	24	38	141	20.5 (16.1)	84	9.6 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.0	10	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.1	16	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	5.2	11	
		5.1			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.8	3
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			61.1		
		生きがいがある	61.1	63.5	7
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.5	5
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	82.4	14
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	69.6	7
			68.9		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	18.5	1
	14.3				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.3	19		
	18.4				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	27.0	13		
	24.3				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.7	4		
	8.6				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第六圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.3	22
		10.4		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	0.9	30
		4.0		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	45.1	2
		41.1		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	32.6	2
		30.3		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.5	3
		62.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	78.5	10
		76.0		
	15分以上の歩行をしている	66.8	60.1	25
		62.5		
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	31.3	20
		31.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.8	14
		25.7		
	口の渇きが気になる	25.0	20.6	3
		24.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.7	12
		90.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.4	20
		67.6		
	健康への関心がある	90.1	88.0	26
		88.6		
	外出を控えている	25.9	20.2	1
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	14.9	21
		15.2		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	81.5	5
		78.4		
	I A D Lの低下に該当	5.2	5.2	13
		6.5		
知的能動性の低下に該当	12.5	13.3	19	
	12.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.6	14	
	85.5			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.2	9	
	13.0			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.6	8	
	21.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	27.5	1
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.5	9
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.6	15
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	82.0	3
			79.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	59.5	23
			60.7		
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	30.8	9
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	17.9	15
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.1	24
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.6	10
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	76.9	3
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	69.2	24
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	2.6	23
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	75.0	16
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	19.2	27
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.2	16
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.8	3
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	18.5	1
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	79.4	1
72.7					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	38.5	4	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.9	掃除・洗濯	25.6
買い物	28.2	ゴミ出し	17.9	外出同行	38.5
移送サービス	28.2	見守り、声かけ	20.5	通いの場	20.5
その他	0.0	特になし	17.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	30.8	41.2
声かけ	33.3	47.2
外出同行	10.3	13.3
雪かき	25.6	23.6
庭の手入れ	7.7	17.2
ゴミ出し	10.3	25.3
買物	2.6	19.7
調理	7.7	7.7
掃除	7.7	18.5
着替え	5.1	3.0
季節用品の入替	5.1	3.4
電球交換	10.3	9.0
特になし(できない)	33.3	21.5
その他	0.0	2.1

第六圏域（山形西部）

5 「村木沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,687	649	38.5 (30.4)	315	334	51.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
533	8	26	82	16.6 (16.1)	37	5.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第六圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	10.1	27	
		12.9			
	介護予防事業対象者	77.7	80.7	24	
		80.0			
	サービス事業対象者	5.9	6.1	18	
		5.1			
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.5	25
			35.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	57.0	26
			61.1		
		生きがいがある	61.1	53.5	29
			61.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	41.7	1
			35.4		
		週二回以上外出している	81.7	73.7	29
			79.0		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.5	14
			68.9		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.0	16
			14.3		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	16.2	26		
	18.4				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	22.8	23		
	24.3				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.2	10		
	8.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
			第六圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	13.6	2	
			10.4			
		⑥老人クラブに参加している	4.7			8.8
			4.0			
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.4	11		
		41.1				
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.5	11		
		30.3				
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.4	23		
		62.9				
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	76.3	20		
		76.0				
	15分以上の歩行をしている	66.8	55.7	30		
		62.5				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	34.2	27		
		31.4				
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.2	25		
		25.7				
	口の渇きが気になる	25.0	29.4	27		
		24.4				
	毎日歯磨きをしている	91.9	86.4	28		
		90.5				
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.5	18		
		67.6				
	健康への関心がある	90.1	86.8	28		
		88.6				
	外出を控えている	25.9	25.9	14		
		24.7				
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	18.6	29		
		15.2				
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.8	19		
		78.4				
	IADLの低下に該当	5.2	8.3	29		
		6.5				
知的能動性の低下に該当	12.5	13.6	20			
	12.0					
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.1	22			
	85.5					
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	14.0	22			
	13.0					
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.9	15			
	0.9					
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	26.3	29			
	21.5					

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第六圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	39.9	29
			33.8		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.9	23
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.3	13
			44.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	78.5	19
			79.7		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	56.8	28	
		60.7			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			25.7		
		訪問診療を利用している	18.2	25.9	3
			17.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	18.5	2
			10.5		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	22.2	20
			17.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	85.2	1
			63.0		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	63.0	29
			70.8		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	0.0	28
			3.9		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	18.5	3
			21.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	66.7	26
			71.1		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	23.8	29
			13.7		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	57.0	26
			61.1		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.5	25
			35.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.0	16
			14.3		
		地域で支援できることがある	69.5	68.4	18
			72.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	33.3	8	
		30.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	25.9	調理	22.2	掃除・洗濯	22.2
買い物	14.8	ゴミ出し	18.5	外出同行	29.6
移送サービス	37.0	見守り、声かけ	33.3	通いの場	18.5
その他	3.7	特になし	18.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	44.4	32.5
声かけ	37.0	40.4
外出同行	7.4	9.2
雪かき	25.9	20.2
庭の手入れ	3.7	16.2
ゴミ出し	7.4	15.8
買物	7.4	11.4
調理	11.1	3.1
掃除	7.4	11.4
着替え	0.0	3.5
季節用品の入替	0.0	2.2
電球交換	3.7	10.5
特になし(できない)	22.2	29.4
その他	0.0	2.2

第七圏域（さくら）

1 「第一地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,947	1,609	32.5 (30.4)	784	825	51.3 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,295	19	67	228	18.3 (16.1)	112	7.0 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第七圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.0	6	
		14.9			
	介護予防事業対象者	77.7	74.0	5	
		76.6			
	サービス事業対象者	5.9	7.6	26	
		6.8			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.9	4
			37.3		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.6	5
			63.7		
		生きがいがある	61.1	61.1	16
			60.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.6	17
			32.5		
		週二回以上外出している	81.7	91.3	1
			88.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.3	16
			66.1		
			①ボランティアのグループに参加している	13.8	14.6
		12.6			
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	27.1	2	
		23.9			
	③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.6	2	
		29.1			
	④学習・教養サークルに参加している	8.0	12.5	1	
		9.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.6	24
			7.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	1.7	27
			2.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	29.9	21	
		31.0			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.5	11	
		27.9			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	67.7	1	
		66.2			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	84.0	1	
		82.7			
	15分以上の歩行をしている	66.8	81.9	1	
		77.4			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.7	2	
		26.0			
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3	
		24.7			
	口の渇きが気になる	25.0	24.7	12	
		23.4			
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.7	21	
		92.2			
	過去一年間で転倒していない	68.0	69.4	8	
		72.2			
	健康への関心がある	90.1	92.7	3	
		91.8			
	外出を控えている	25.9	21.2	2	
		24.7			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.1	18	
		11.8			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.5	12	
		78.2			
	IADLの低下に該当	5.2	3.8	7	
		3.9			
知的能動性の低下に該当	12.5	8.0	1		
	10.7				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.2	6		
	84.1				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	8.0	1		
	8.7				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.7	12		
	0.5				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	18.8	4		
	19.5				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	28.5	2
			30.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			53.2		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	46.9	23
			47.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	80.6	11
			78.4		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.1	14
			62.4		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	37.4	2
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	23.1	6
			20.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	7.7	20
			8.0		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	23.1	16
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.0	10
			68.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.8	13
			78.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	1.1	27
			4.7		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			24.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	72.2	22
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.1	12
			13.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.6	5
			63.7		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	39.9	4
			37.3		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	14.6	13
			12.6		
		地域で支援できることがある	69.5	72.9	9
			69.8		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	20.9	28	
		25.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	18.7	掃除・洗濯	27.5
買い物	27.5	ゴミ出し	27.5	外出同行	37.4
移送サービス	30.8	見守り、声かけ	23.1	通いの場	15.4
その他	11.0	特になし	15.4		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	25.3	35.4
声かけ	27.5	43.1
外出同行	7.7	9.4
雪かき	15.4	14.9
庭の手入れ	7.7	5.2
ゴミ出し	16.5	19.4
買物	12.1	13.9
調理	1.1	6.9
掃除	8.8	14.2
着替え	1.1	2.1
季節用品の入替	4.4	0.7
電球交換	7.7	9.0
特になし(できない)	24.2	29.5
その他	8.8	2.8

第七圏域（さくら）

2 「第二地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
9,699		2,811		29.0 (30.4)	1,400	1,411	50.2 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,323	30	113	345	16.3 (16.1)	129	4.6 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第七圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.9	17	
		14.9			
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
		76.6			
	サービス事業対象者	5.9	6.0	16	
		6.8			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある		35.0	18
		36.0	37.3		
		参加者としての社会参加意向がある		61.9	18
		62.2	63.7		
		生きがいがある		60.4	19
		61.1	60.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う		32.3	18
		33.4	32.5		
		週二回以上外出している		86.1	5
		81.7	88.5		
		何らかの地域活動へ参加している		65.9	17
		66.8	66.1		
		①ボランティアのグループに参加している		10.9	28
		13.8	12.6		
		②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		21.1	12
20.2	23.9				
③趣味関係のグループに参加している		26.9	14		
26.4	29.1				
④学習・教養サークルに参加している		6.0	27		
8.0	9.0				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第七圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.6	20
		7.1		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.9	15
		2.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	32.0	17
		31.0		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.5	16
		27.9		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.0	11
		66.2		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.6	3
		82.7		
	15分以上の歩行をしている	66.8	73.4	2
		77.4		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.2	6
		26.0		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.0	17
		24.7		
	口の渇きが気になる	25.0	22.4	5
		23.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.7	12
		92.2		
	過去一年間で転倒していない	68.0	74.6	1
		72.2		
	健康への関心がある	90.1	90.9	12
		91.8		
	外出を控えている	25.9	27.8	24
		24.7		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.9	12
		11.8		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.0	18
		78.2		
	IADLの低下に該当	5.2	3.9	8
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	13.0	16	
	10.7			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.8	20	
	84.1			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	9.4	2	
	8.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.3	5	
	0.5			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	20.2	7	
	19.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第七圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.0	12
			30.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.9	16
			53.2		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.4	24
			47.2		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	76.4	23
			78.4		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.7	11
62.4					
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.8	16
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	19.6	11
			20.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.2	19
			8.0		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.5	11
			24.7		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	69.0	6
			68.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	79.3	5
			78.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			4.7		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	20.7	5
			24.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	77.6	13
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.5	21
			13.5		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	61.9	18
			63.7		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			37.3		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.9	28
			12.6		
		地域で支援できることがある	69.5	67.1	21
69.8					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.7	20	
		25.5			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	21.2	調理	16.3	掃除・洗濯	25.5
買い物	21.7	ゴミ出し	20.1	外出同行	28.3
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	23.9	通いの場	14.7
その他	5.4	特になし	23.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.2	29.0
声かけ	25.5	37.2
外出同行	8.2	10.0
雪かき	30.4	14.5
庭の手入れ	11.4	10.9
ゴミ出し	13.6	18.7
買物	8.2	14.5
調理	5.4	7.3
掃除	7.6	15.7
着替え	2.2	2.7
季節用品の入替	1.6	3.0
電球交換	7.1	8.8
特になし(できない)	29.9	32.3
その他	1.6	4.2

第八圏域（かがやき）

1 「第三地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
7,902		2,561		32.4 (30.4)	1,160	1,401	54.7 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,100	53	109	299	15.9 (16.1)	102	4.0 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.6	18	
		14.8			
	介護予防事業対象者	77.7	78.9	19	
76.7					
サービス事業対象者	5.9	6.5	20		
	6.3				
一般 高齢者 の ビジ ョ ン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
			40.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.3	13
			66.0		
		生きがいがある	61.1	57.1	26
			59.5		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	32.8	15	
		31.4			
	週二回以上外出している	81.7	84.4	8	
		85.9			
	何らかの地域活動へ参加している	①ボランティアのグループに参加している	66.8	70.3	6
			70.5		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している		13.8	12.7	21	
		12.9			
③趣味関係のグループに参加している		20.2	19.5	18	
		22.0			
④学習・教養サークルに参加している	26.4	26.3	16		
	28.6				
	8.0	7.8	13		
	8.4				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	10.7	5
			8.3		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	8.4	4
			4.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	40.9	4	
		33.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.3	19	
		30.1			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.6	8	
		65.1			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.6	12	
		78.7			
15分以上の歩行をしている	66.8	66.2	16		
	68.7				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.6	7	
		29.8			
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.9	23	
		26.0			
	口の渇きが気になる	25.0	25.0	16	
		26.9			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6	
		92.8			
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.8	11	
		67.2			
	健康への関心がある	90.1	91.2	6	
		90.1			
	外出を控えている	25.9	24.0	7	
		24.1			
	外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7	8.1	2	
		11.0			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.0	28	
		79.1			
	IADLの低下に該当	5.2	3.2	5	
		3.8			
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12		
	12.8				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.4	24		
	83.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.4	12		
	11.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.3	21		
	1.6				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.4	17		
	23.6				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第八圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.8	8
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.6	14
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.1	17
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.8	4
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	63.5	9
			64.6		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	35.3	3
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	20.2	8
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.8	10
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	27.7	4
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.6	19
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.0	8
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.2	12
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	20.8	6
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	81.3	6
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	9.8	7
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	63.3	13
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.0	10
			40.6		
ボランティアのグループに参加している		13.8	12.7	21	
		12.9			
地域で支援できることがある		69.5	74.0	7	
		71.7			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	30.1	14	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	18.5	調理	14.5	掃除・洗濯	26.6
買い物	24.3	ゴミ出し	21.4	外出同行	32.4
移送サービス	30.6	見守り、声かけ	24.3	通いの場	13.9
その他	6.9	特になし	16.2		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.2	33.1
声かけ	32.4	38.3
外出同行	6.4	8.1
雪かき	32.4	15.9
庭の手入れ	8.7	8.4
ゴミ出し	13.3	17.5
買物	8.7	14.3
調理	2.9	6.8
掃除	9.2	14.6
着替え	1.2	2.9
季節用品の入替	2.3	1.6
電球交換	9.2	8.4
特になし(できない)	26.0	27.3
その他	2.3	2.9

第八圏域（かがやき）

2 「第四地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
5,592		2,094		37.4 (30.4)	857	1,237	59.1 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
1,594	40	99	361	22.0 (16.1)	214	10.2 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位		
		第八圏域(%)				
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.1	15		
		14.8				
	介護予防事業対象者	77.7	77.1	11		
		76.7				
	サービス事業対象者	5.9	7.0	24		
		6.3				
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	46.5	1	
			40.6			
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	72.2	1	
			66.0			
		生きがいがある	61.1	66.2	2	
			59.5			
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.3	25	
			31.4			
		週二回以上外出している	81.7	87.3	3	
			85.9			
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	73.6	2	
			70.5			
			①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.1	9
				12.9		
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	25.4	3		
		22.0				
	③趣味関係のグループに参加している	26.4	34.2	1		
		28.6				
	④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.2	6		
		8.4				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第八圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	7.4	21
		8.3		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
		4.7		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.3	12	
	33.1			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.7	3	
	30.1			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	63.0	15
		65.1		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.6	8
78.7				
15分以上の歩行をしている	66.8	72.9	3	
	68.7			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.2	10
		29.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.4	19
		26.0		
	口の渇きが気になる	25.0	30.3	28
		26.9		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.3	18
		92.8		
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.3	14
		67.2		
	健康への関心がある	90.1	88.4	23
		90.1		
	外出を控えている	25.9	21.8	3
		24.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	16.1	24
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	80.6	6
		79.1		
	IADLの低下に該当	5.2	4.2	10
3.8				
知的能動性の低下に該当	12.5	11.6	10	
	12.8			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.7	15	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.9	7	
	11.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.8	25	
	1.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.3	24	
	23.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第八圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	30.3	7
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	54.6	25
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.3	3
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.8	20
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	66.1	2
			64.6		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	15.8	21
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	6.1	22
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.8	11
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	71.9	21
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.5	19
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	25.4	15
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	72.7	21
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	8.2	4
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	72.2	1
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	46.5	1
			40.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.1	9
			12.9		
		地域で支援できることがある	69.5	73.2	8
			71.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	27.2	21	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思ふ支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	14.0	調理	17.5	掃除・洗濯	28.1
買い物	21.9	ゴミ出し	19.3	外出同行	28.9
移送サービス	28.1	見守り、声かけ	23.7	通いの場	19.3
その他	7.9	特にない	17.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	24.6	35.2
声かけ	26.3	44.4
外出同行	7.9	12.3
雪かき	26.3	16.9
庭の手入れ	10.5	8.5
ゴミ出し	11.4	20.8
買物	5.3	15.8
調理	6.1	7.0
掃除	7.9	15.1
着替え	2.6	1.8
季節用品の入替	1.8	3.9
電球交換	7.0	7.0
特にない(できない)	36.0	28.5
その他	0.0	3.9

第八圏域（かがやき）

3 「第九地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
7,505		1,430		19.1 (30.4)	727	703	49.2 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
1,180	15	33	202	16.4 (16.1)	115	8.0 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第八圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.9	4	
		14.8			
	介護予防事業対象者	77.7	73.7	4	
	サービス事業対象者	5.9	5.4	13	
		6.3			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			40.6		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15
			66.0		
		生きがいがある	61.1	55.4	28
			59.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.9	21
			31.4		
		週二回以上外出している	81.7	86.0	6
			85.9		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	67.2	12
			70.5		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	10.8	30
	12.9				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.2	11		
	22.0				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	25.5	19		
	28.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.2	16		
	8.4				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第八圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	6.5	25
		8.3		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	2.2	23
		4.7		
⑦町内会・自治会に参加している	33.0	21.2	30	
	33.1			
⑧収入のある仕事に参加している	27.5	31.7	3	
	30.1			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.5	3
		65.1		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.1	9
		78.7		
15分以上の歩行をしている	66.8	67.3	14	
	68.7			
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	33.8	26
		29.8		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.5	9
		26.0		
	口の渇きが気になる	25.0	25.5	20
		26.9		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.8	11
		92.8		
	過去一年間で転倒していない	68.0	64.4	26
		67.2		
	健康への関心がある	90.1	90.6	14
		90.1		
	外出を控えている	25.9	26.6	16
		24.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.5	5
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.0	3
		79.1		
	IADLの低下に該当	5.2	4.0	9
		3.8		
知的能動性の低下に該当	12.5	14.4	24	
	12.8			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	79.8	3	
	83.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.9	13	
	11.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.8	25	
	1.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.1	23	
	23.6			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第八圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	29.9	5
			30.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	46.0	2
			51.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	44.2	12
			43.9		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			80.5		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	64.2	7
			64.6		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	21.2	27
			32.0		
		訪問診療を利用している	18.2	25.8	5
			19.8		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	24.2	1
			11.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	19.7	26
			25.8		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	57.6	25
			63.2		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	68.2	25
			74.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	1.5	26
			4.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	28.8	22
			23.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	88.5	1
			79.9		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	20.0	28
			10.9		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	62.6	15
			66.0		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			40.6		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	10.8	30
			12.9		
		地域で支援できることがある	69.5	67.6	20
			71.7		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	16.7	30	
		26.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.6	調理	9.1	掃除・洗濯	12.1
買い物	16.7	ゴミ出し	16.7	外出同行	34.8
移送サービス	31.8	見守り、声かけ	22.7	通いの場	9.1
その他	6.1	特にない	16.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	21.2	33.5
声かけ	21.2	37.8
外出同行	9.1	9.7
雪かき	22.7	12.9
庭の手入れ	4.5	11.2
ゴミ出し	7.6	19.1
買物	4.5	16.2
調理	1.5	8.3
掃除	1.5	16.5
着替え	1.5	4.7
季節用品の入替	3.0	4.3
電球交換	6.1	7.6
特にない(できない)	31.8	28.8
その他	1.5	2.2

第九圏域（霞城北部）

1 「第七地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
15,257	4,502	29.5 (30.4)	2,054	2,448	54.4 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
3,779	82	156	485	14.2 (16.1)	190	4.2 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第九圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.2	13	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	76.0	7	
		76.0			
	サービス事業対象者	5.9	8.4	29	
		8.4			
一般 高齢者 の ビジ ョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	38.5	6
			38.5		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9
			64.8		
		生きがいがある	61.1	59.5	22
			59.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.0	14
			33.0		
		週二回以上外出している	81.7	83.2	12
			83.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.4	15
			66.4		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.6	22
			12.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.3	6		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.9	5		
	29.9				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.3	15		
	7.3				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第九圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.5	10
		9.5		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	10.1	1
		10.1		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	33.2	16
		33.2		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	24.9	26
		24.9		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.5	21
		61.5		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.9	25
		74.9		
15分以上の歩行をしている	66.8	68.2	12	
	68.2			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.4	15
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	24.0	8
		24.0		
	口の渇きが気になる	25.0	30.4	30
		30.4		
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.5	15
		92.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.0	23
		67.0		
	健康への関心がある	90.1	91.1	8
		91.1		
	外出を控えている	25.9	26.8	17
		26.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	11.5	13
		11.5		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	78.2	15
		78.2		
	IADLの低下に該当	5.2	6.4	22
		6.4		
知的能動性の低下に該当	12.5	15.4	28	
	15.4			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.2	16	
	85.2			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	15.1	26	
	15.1			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	2.2	28	
	2.2			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.6	19	
	22.6			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第九圏域(%)			
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.3	24
			38.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.4	19
		53.4			
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	45.1	46.6	22
			46.6		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	64.8	6	
	64.8				
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	30.9	8
			30.9		
		訪問診療を利用している	18.2	18.5	13
			18.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	4.2	27
			4.2		
	在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.1	12	
		25.1			
	人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	61.4	21	
		61.4			
	適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.8	6	
		78.8			
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.0	14
			5.0		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	29.3	23
			29.3		
	仕事と介護を両立できる	74.3	78.4	11	
		78.4			
	介護を理由に離職・転職した	11.8	11.7	15	
		11.7			
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.8	9
		64.8			
お世話役としての社会参加意向がある		36.0	38.5	6	
		38.5			
ボランティアのグループに参加している	13.8	12.6	22		
	12.6				
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	69.5	69.6	13	
		69.6			
	29.5	28.6	16		
	28.6				

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.5	調理	14.7	掃除・洗濯	17.8
買い物	17.8	ゴミ出し	18.9	外出同行	32.8
移送サービス	34.0	見守り、声かけ	21.6	通いの場	18.1
その他	3.5	特になし	23.9		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.0	33.5
声かけ	26.3	35.8
外出同行	5.8	5.9
雪かき	34.7	15.6
庭の手入れ	8.9	8.4
ゴミ出し	12.0	16.8
買物	5.4	12.8
調理	3.9	5.0
掃除	5.8	14.0
着替え	0.8	2.8
季節用品の入替	1.5	3.4
電球交換	5.4	9.2
特になし(できない)	33.2	31.8
その他	2.7	1.7

第十圏域（霞城西部）

1 「第十地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
10,136		2,954		29.1 (30.4)	1,311	1,643	55.6 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
2,388	71	126	369	16.8 (16.1)	150	5.1 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十圏域(%)		
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.9	24
		12.8		
	介護予防事業対象者	77.7	80.9	26
		79.2		
	サービス事業対象者	5.9	6.1	18
		6.0		
一般高齢者の ビジョン	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.4	26
		33.8		
	参加者としての社会参加意向がある	62.2	59.7	23
		58.6		
	生きがいがある	61.1	64.8	5
		61.4		
	週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.7	24
		30.1		
	週二回以上外出している	81.7	88.4	2
		81.5		
	何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.8	18
		64.7		
	①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
		13.6		
	②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.8	10
19.7				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.7	8	
	24.8			
④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.6	8	
	7.3			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.9	7
		10.7		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	8.2	5
		6.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	25.9	26
		29.6		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	25.9	23
		24.5		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	65.5	9
		62.0		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	79.9	7
		77.1		
	15分以上の歩行をしている	66.8	69.6	9
		64.6		
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.0	12
		28.5		
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.0	24
		26.8		
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8
		25.6		
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.2	6
		92.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	66.2	24
		65.5		
	健康への関心がある	90.1	89.4	20
		89.4		
	外出を控えている	25.9	23.9	6
		25.9		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15
		12.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	73.7	29
		75.6		
	IADLの低下に該当	5.2	4.4	11
		5.4		
知的能動性の低下に該当	12.5	10.2	5	
	11.1			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	87.3	27	
	85.8			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.3	16	
	13.4			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.7	23	
	0.9			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	25.6	28	
	23.1			

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.1	9
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	55.3	27
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.8	25
			45.0		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.8	20
			77.2		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	67.0	1
			63.1		
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.6	10
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	14.2	25
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	13.0	3
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	24.1	14
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	56.2	26
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.3	16
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	7.4	2
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	23.5	10
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	76.3	15
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	3.4	2
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	59.7	23
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	32.4	26
			33.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
			13.6		
		地域で支援できることがある	69.5	66.2	22
			67.4		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	21.6	27	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.4	調理	13.6	掃除・洗濯	19.8
買い物	19.8	ゴミ出し	23.5	外出同行	29.0
移送サービス	29.0	見守り、声かけ	19.8	通いの場	14.2
その他	4.9	特にない	19.1		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	32.1	28.3
声かけ	27.2	31.7
外出同行	6.8	7.2
雪かき	32.7	17.4
庭の手入れ	9.9	8.5
ゴミ出し	15.4	19.5
買物	11.1	10.6
調理	4.9	7.2
掃除	6.2	13.7
着替え	2.5	1.4
季節用品の入替	4.3	1.4
電球交換	4.9	6.1
特にない(できない)	28.4	35.2
その他	3.1	3.1

第十圏域（霞城西部）

2 「飯塚地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
3,146		1,121		35.6 (30.4)	472	649	57.9 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
917	15	44	145	16.9 (16.1)	59	5.3 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	14.7	12	
		12.8			
	介護予防事業対象者	77.7	76.3	9	
	サービス事業対象者	79.2			
		5.9	7.2	25	
		6.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.2	21
			33.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	56.1	27
			58.6		
		生きがいがある	61.1	57.6	25
			61.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	29.9	28
			30.1		
		週二回以上外出している	81.7	80.6	20
			81.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	66.6	13
			64.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.7	18
	13.6				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	17.6	24		
	19.7				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	24.8	20		
	24.8				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	5.4	29		
	7.3				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	11.2	4
			10.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	9.7	2
			6.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.7	18	
		29.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	26.6	22	
		24.5			
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	57.9	29	
		62.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	74.1	27	
77.1					
15分以上の歩行をしている	66.8	59.7	28		
	64.6				
介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.1	8	
		28.5			
	お茶や汁物でむせる	25.5	27.3	26	
		26.8			
	口の渇きが気になる	25.0	28.1	26	
		25.6			
	毎日歯磨きをしている	91.9	92.4	17	
		92.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	62.9	28	
		65.5			
	健康への関心がある	90.1	87.4	27	
		89.4			
	外出を控えている	25.9	26.3	15	
		25.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.3	14	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.3	17	
		75.6			
	IADLの低下に該当	5.2	6.1	21	
		5.4			
知的能動性の低下に該当	12.5	14.4	24		
	11.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	84.1	13		
	85.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	14.4	23		
	13.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	23.4	21		
	23.1				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.8	25
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.5	13
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.7	19
			45.0		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.9	14
			77.2		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	60.9	21
63.1					
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	33.3	4
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	14.0	26
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	12.3	5
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.3	5
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	57.9	24
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	66.7	27
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	7.0	3
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.8	8
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	85.0	3
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	17.1	26
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	56.1	27
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	34.2	21
			33.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	13.7	18
			13.6		
		地域で支援できることがある	69.5	72.3	11
67.4					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	19.3	29	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.8	調理	14.0	掃除・洗濯	21.1
買い物	28.1	ゴミ出し	28.1	外出同行	33.3
移送サービス	24.6	見守り、声かけ	26.3	通いの場	14.0
その他	5.3	特になし	15.8		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.1	30.9
声かけ	29.8	37.8
外出同行	5.3	6.8
雪かき	33.3	20.1
庭の手入れ	8.8	12.9
ゴミ出し	14.0	18.0
買物	5.3	14.4
調理	5.3	5.4
掃除	5.3	18.7
着替え	1.8	2.9
季節用品の入替	3.5	1.1
電球交換	8.8	10.1
特になし(できない)	28.1	26.3
その他	1.8	2.2

第十圏域（霞城西部）

3 「樺沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
1,996	763	38.2 (30.4)	321	442	57.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
653	11	25	74	13.0 (16.1)	28	3.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	11.7	25	
		12.8			
	介護予防事業対象者	77.7	80.4	23	
	サービス事業対象者	79.2	4.6	7	
		5.9			
		6.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			33.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.0	22
			58.6		
		生きがいがある	61.1	61.7	14
			61.4		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	29.6	29
			30.1		
		週二回以上外出している	81.7	74.2	26
			81.5		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	61.3	29
			64.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.7	24
			13.6		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.6	17		
	19.7				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	20.0	29		
	24.8				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	6.7	22		
	7.3				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	11.3	3
			10.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	2.1	24
			6.9		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.7	18	
		29.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	20.4	30	
		24.5			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	62.5	17	
		62.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.1	15	
		77.1			
	15分以上の歩行をしている	66.8	64.2	18	
		64.6			
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	27.1	5	
		28.5			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.8	14	
		26.8			
	口の渇きが気になる	25.0	25.0	16	
		25.6			
	毎日歯磨きをしている	91.9	91.7	21	
		92.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.5	18	
		65.5			
	健康への関心がある	90.1	91.7	4	
		89.4			
	外出を控えている	25.9	27.9	25	
		25.9			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.4	19	
		12.9			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.8	24	
		75.6			
	IADLの低下に該当	5.2	5.8	19	
		5.4			
知的能動性の低下に該当	12.5	8.3	2		
	11.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.8	20		
	85.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.8	21		
	13.4				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.8	14		
	0.9				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	19.6	6		
	23.1				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	38.8	25
			36.0		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	56.3	29
			54.6		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	40.8	2
			45.0		
総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	73.3	29	
		77.2			
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.0	20	
		63.1			
要介護者等の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	38.7	1
			31.6		
		訪問診療を利用している	18.2	16.1	20
			14.4		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.7	12
			12.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	19.4	27
			24.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	54.8	27
			56.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	77.4	9
			73.6		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	3.2	21
			6.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	35.5	30
			24.8		
		仕事と介護を両立できる	74.3	60.0	30
			75.5		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	25.0	30
			9.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	60.0	22
			58.6		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.0	18
			33.8		
ボランティアのグループに参加している		13.8	11.7	24	
		13.6			
地域で支援できることがある		69.5	63.3	28	
		67.4			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	25.8	23	
		21.6			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	19.4	調理	16.1	掃除・洗濯	19.4
買い物	6.5	ゴミ出し	12.9	外出同行	22.6
移送サービス	19.4	見守り、声かけ	29.0	通いの場	6.5
その他	6.5	特になし	22.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	25.8	28.8
声かけ	25.8	38.8
外出同行	3.2	6.3
雪かき	19.4	15.0
庭の手入れ	3.2	9.2
ゴミ出し	0.0	15.8
買物	0.0	12.5
調理	0.0	4.2
掃除	0.0	14.2
着替え	0.0	2.5
季節用品の入替	0.0	1.3
電球交換	0.0	8.3
特になし(できない)	35.5	32.1
その他	6.5	0.8

第十一圏域（蔵王）

1 「蔵王地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)		高齢者人口 (人)		高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
16,469		5,228		31.7 (30.4)	2,505	2,723	52.1 (53.6)
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)	
4,313	129	159	627	15.0 (16.1)	296	5.7 (5.8)	

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十一圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	18.6	2	
		18.6			
	介護予防事業対象者	77.7	74.1	6	
		74.1			
	サービス事業対象者	5.9	3.8	3	
		3.8			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8
			37.8		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10
			64.2		
		生きがいがある	61.1	63.1	10
			63.1		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	33.1	13
			33.1		
		週二回以上外出している	81.7	83.7	11
			83.7		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.6	8
			68.6		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	12.8	20
	12.8				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	22.1	8		
	22.1				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.7	6		
	29.7				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.0	19		
	7.0				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十一圏域(%)			
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.7	16
			8.7		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
			3.2		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	27.6	22	
		27.6			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	29.7	8	
		29.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	66.0	7	
		66.0			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	82.0	2	
	82.0				
15分以上の歩行をしている	66.8	71.2	7		
	71.2				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	24.7	2	
		24.7			
	お茶や汁物でむせる	25.5	19.8	1	
		19.8			
	口の渇きが気になる	25.0	24.7	12	
		24.7			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.0	9	
		93.0			
	過去一年間で転倒していない	68.0	72.7	2	
		72.7			
	健康への関心がある	90.1	89.0	22	
		89.0			
	外出を控えている	25.9	21.8	3	
		21.8			
	外出を控えている (交通手段がない理由のみ)	12.7	10.7	11	
		10.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	82.3	1	
		82.3			
	IADLの低下に該当	5.2	3.2	5	
		3.2			
知的能動性の低下に該当	12.5	11.9	11		
	11.9				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	78.8	1		
	78.8				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	9.9	3		
	9.9				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.2	19		
	1.2				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	17.7	1		
	17.7				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十一圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	29.1	4
			29.1		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.3	12
			52.3		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.4	5
			42.4		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.7	6
			81.7		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.8	10
			62.8		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	26.6	20
			26.6		
		訪問診療を利用している	18.2	18.9	12
			18.9		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	7.6	21
			7.6		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	25.9	9
			25.9		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.1	9
			67.1		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	76.7	12
			76.7		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.6	4
			6.6		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	25.9	16
			25.9		
		仕事と介護を両立できる	74.3	70.3	23
			70.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	12.1	17
			12.1		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.2	10
			64.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	37.8	8
			37.8		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	12.8	20
			12.8		
		地域で支援できることがある	69.5	74.1	6
			74.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	35.2	5	
		35.2			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	15.6	調理	15.3	掃除・洗濯	20.6
買い物	18.3	ゴミ出し	15.0	外出同行	27.9
移送サービス	27.2	見守り、声かけ	21.3	通いの場	12.6
その他	6.3	特になし	23.6		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	27.2	32.0
声かけ	26.6	41.0
外出同行	4.0	9.9
雪かき	31.2	17.2
庭の手入れ	12.6	15.1
ゴミ出し	8.0	18.9
買物	6.0	14.2
調理	3.7	7.3
掃除	5.6	16.9
着替え	1.0	3.5
季節用品の入替	3.7	4.1
電球交換	7.3	8.7
特になし(できない)	31.9	25.9
その他	2.0	2.6

第十二圏域（愛らんど）

1 「第五地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
7,807	2,138	27.4 (30.4)	959	1,179	55.1 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,779	30	83	246	15.4 (16.1)	98	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	12.6	22	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	77.7	14	
		77.2			
	サービス事業対象者	5.9	8.3	27	
		7.0			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.9	12
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.1	11
			65.2		
		生きがいがある	61.1	66.1	3
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	34.9	10
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	81.1	19
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.5	9
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
			15.7		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	27.2	1		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	29.6	7		
	29.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	12.0	2		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十二圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	8.3	17
		7.9		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.7	16
		4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	36.2	13
		35.5		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	27.2	20
		29.4		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.1	28
		63.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.4	13
		78.8		
	15分以上の歩行をしている	66.8	71.4	6
		70.2		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	32.6	25
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.9	16
		25.2		
	口の渇きが気になる	25.0	22.9	6
		24.8		
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.0	9
		94.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	68.4	13
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	91.0	11
		92.1		
	外出を控えている	25.9	30.9	30
		27.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	9.7	6
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	75.7	25
		76.5		
	IADLの低下に該当	5.2	6.0	20
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	10.3	6	
	11.9			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	86.8	26	
	84.7			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.3	20	
	11.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.7	23	
	1.4			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	24.9	26	
	23.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.9	17
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.2	8
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	45.5	18
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	77.4	22
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	62.2	13
			63.0		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	31.5	7
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	17.7	18
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.6	23
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	29.0	3
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.7	18
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	78.2	7
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	6.5	5
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.6	24
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	82.6	5
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.4	20
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	64.1	11
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	36.9	12
			36.9		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	15.6	7
			15.7		
		地域で支援できることがある	69.5	68.1	19
			69.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.3	10	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	24.2	調理	17.7	掃除・洗濯	29.8
買い物	24.2	ゴミ出し	22.6	外出同行	29.0
移送サービス	31.5	見守り、声かけ	30.6	通いの場	21.0
その他	8.9	特になし	14.5		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.5	32.2
声かけ	32.3	37.5
外出同行	4.8	6.0
雪かき	31.5	14.6
庭の手入れ	8.1	8.0
ゴミ出し	12.1	17.9
買物	5.6	9.6
調理	4.0	5.0
掃除	5.6	10.3
着替え	0.0	2.0
季節用品の入替	2.4	1.7
電球交換	3.2	5.6
特になし(できない)	36.3	31.9
その他	1.6	2.3

第十二圏域（愛らんど）

2 「第八地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
9,754	2,507	25.7 (30.4)	1,185	1,322	52.7 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
2,110	66	73	258	13.2 (16.1)	115	4.6 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	16.6	5	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	73.2	2	
		77.2			
	サービス事業対象者	5.9	8.3	27	
		7.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.2	23
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.2	7
			65.2		
		生きがいがある	61.1	63.3	8
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.0	27
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	84.0	10
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	68.1	10
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	15.0	10
	15.7				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.1	12		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	31.0	4		
	29.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	10.5	5		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十二圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	5.1	27
		7.9		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	1.9	25
		4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	31.6	20
		35.5		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	28.1	14
		29.4		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	67.7	1
		63.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	81.2	5
		78.8		
	15分以上の歩行をしている	66.8	72.5	4
		70.2		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	28.1	8
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	23.3	3
		25.2		
	口の渇きが気になる	25.0	27.5	25
		24.8		
	毎日歯磨きをしている	91.9	96.8	1
		94.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.7	17
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	91.1	8
		92.1		
	外出を控えている	25.9	27.2	19
		27.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	12.9	15
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.4	21
		76.5		
	IADLの低下に該当	5.2	2.9	2
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	13.1	17	
	11.9			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	82.1	5	
	84.7			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	11.2	9	
	11.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.6	22	
	1.4			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	21.7	14	
	23.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	33.5	16
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	51.8	10
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	47.9	27
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	81.8	4
			78.6		
	幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	61.1	19	
		63.0			
要介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	26.5	21
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	14.5	24
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	5.1	24
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	29.1	2
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	67.5	8
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	82.1	3
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	2.6	23
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	30.8	25
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	63.0	29
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	13.3	18
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	65.2	7
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	33.2	23
			36.9		
ボランティアのグループに参加している		13.8	15.0	10	
		15.7			
地域で支援できることがある		69.5	70.3	12	
		69.1			
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	32.5	9	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	13.7	調理	12.0	掃除・洗濯	22.2
買い物	21.4	ゴミ出し	19.7	外出同行	32.5
移送サービス	20.5	見守り、声かけ	19.7	通いの場	12.8
その他	13.7	特にない	12.8		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	23.1	29.4
声かけ	19.7	34.2
外出同行	7.7	6.1
雪かき	32.5	18.5
庭の手入れ	13.7	14.4
ゴミ出し	13.7	23.6
買物	11.1	13.1
調理	6.8	6.1
掃除	9.4	18.5
着替え	0.0	3.2
季節用品の入替	1.7	3.2
電球交換	10.3	9.3
特にない(できない)	33.3	29.7
その他	2.6	3.2

第十二圏域（愛らんど）

3 「東沢地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
4,644	1,659	35.7 (30.4)	821	838	50.5 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
1,369	11	56	223	16.8 (16.1)	122	7.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十二圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	13.3	20	
		14.2			
	介護予防事業対象者	77.7	80.7	24	
		77.2			
	サービス事業対象者	5.9	4.3	4	
		7.0			
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2
			36.9		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3
			65.2		
		生きがいがある	61.1	67.8	1
			65.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	36.2	6
			33.7		
		週二回以上外出している	81.7	81.4	18
			82.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	73.7	1
			70.0		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	16.6	3
			15.7		
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	24.6	4		
	24.3				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.2	11		
	29.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	9.6	8		
	10.7				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十二圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	10.3	6
		7.9		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	8.0	6
		4.5		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	38.9	7
		35.5		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	32.9	1
		29.4		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	64.8	13
		63.9		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.7	11
		78.8		
	15分以上の歩行をしている	66.8	66.4	15
		70.2		
一般高齢者の ビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.6	18
		30.4		
	お茶や汁物でむせる	25.5	26.6	22
		25.2		
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8
		24.8		
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.7	3
		94.5		
	過去一年間で転倒していない	68.0	65.8	25
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	94.4	1
		92.1		
	外出を控えている	25.9	25.2	12
		27.8		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	10.5	9
		11.0		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	77.4	16
		76.5		
	I A D Lの低下に該当	5.2	3.0	3
		3.9		
知的能動性の低下に該当	12.5	12.3	12	
	11.9			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.4	18	
	84.7			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	10.6	6	
	11.7			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	1.0	17	
	1.4			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.3	16	
	23.0			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十二圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.9	15
			33.4		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.5	20
			52.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	51.5	30
			48.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	76.4	23
			78.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	65.8	5
			63.0		
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.4	17
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	13.5	28
			15.6		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	1.4	30
			4.4		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	31.1	1
			29.5		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	70.3	4
			66.7		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	90.5	1
			82.5		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.4	10
			4.8		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	24.3	13
			29.2		
		仕事と介護を両立できる	74.3	76.9	14
			73.7		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	11.3	13
			13.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.4	3
			65.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	40.9	2
			36.9		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	16.6	3
			15.7		
		地域で支援できることがある	69.5	68.8	15
			69.1		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	39.2	3	
		34.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.3	調理	9.5	掃除・洗濯	14.9
買い物	12.2	ゴミ出し	10.8	外出同行	24.3
移送サービス	23.0	見守り、声かけ	23.0	通いの場	14.9
その他	12.2	特になし	27.0		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願ひしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	31.1	34.9
声かけ	31.1	38.2
外出同行	8.1	11.0
雪かき	27.0	20.3
庭の手入れ	5.4	14.0
ゴミ出し	9.5	14.3
買物	5.4	11.6
調理	4.1	7.6
掃除	5.4	17.3
着替え	2.7	2.3
季節用品の入替	1.4	3.7
電球交換	2.7	11.6
特になし(できない)	36.5	27.9
その他	2.7	3.0

第十三圏域（南沼原）

1 「南沼原地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
17,628	5,012	28.4 (30.4)	2,310	2,702	53.9 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
4,072	80	130	730	17.2 (16.1)	435	8.7 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十三圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	12.1	23	
		12.1			
	介護予防事業対象者	77.7	78.7	18	
		78.7			
	サービス事業対象者	5.9	5.7	14	
		5.7			
一般高齢者の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27
			31.7		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	54.9	28
			54.9		
		生きがいがある	61.1	62.5	12
			62.5		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	31.4	20
			31.4		
		週二回以上外出している	81.7	81.6	17
			81.6		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	63.7	25
			63.7		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	11.1	26
	11.1				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	19.0	20		
	19.0				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	28.6	9		
	28.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.9	12		
	7.9				

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
		第十三圏域(%)		
社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.2	12
		9.2		
	⑥老人クラブに参加している	4.7	3.2	19
		3.2		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	26.3	25
		26.3		
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	21.9	28
		21.9		
社会参加と生活 支援・介護予防 の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	59.7	27
		59.7		
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	80.3	6
		80.3		
15分以上の歩行をしている	66.8	68.6	11	
	68.6			
一般高齢者のビジョン 介護予防・生活 支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.5	17
		30.5		
	お茶や汁物でむせる	25.5	28.6	27
		28.6		
	口の渇きが気になる	25.0	27.3	24
		27.3		
	毎日歯磨きをしている	91.9	94.3	2
		94.3		
	過去一年間で転倒していない	68.0	67.3	21
		67.3		
	健康への関心がある	90.1	91.1	8
		91.1		
	外出を控えている	25.9	25.1	11
		25.1		
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	13.9	20
		13.9		
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	76.5	20
		76.5		
	I A D Lの低下に該当	5.2	5.4	15
		5.4		
知的能動性の低下に該当	12.5	14.0	21	
	14.0			
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	85.3	17	
	85.3			
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	12.1	15	
	12.1			
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.6	9	
	0.6			
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.5	18	
	22.5			

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十三圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	32.7	14
			32.7		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	52.7	15
			52.7		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	43.8	11
			43.8		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	75.6	27
			75.6		
		幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）	61.8	56.9	27
56.9					
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	29.5	12
			29.5		
		訪問診療を利用している	18.2	20.5	7
			20.5		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	8.3	18
			8.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	26.0	8
			26.0		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	63.8	17
			63.8		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	75.2	17
			75.2		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安を感じる介護は特にない	5.1	5.1	13
			5.1		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	26.0	17
			26.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	67.3	25
			67.3		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	14.3	19
			14.3		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	54.9	28
			54.9		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	31.7	27
			31.7		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	11.1	26
			11.1		
		地域で支援できることがある	69.5	61.9	30
61.9					
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	31.1	12	
		31.1			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	20.9	調理	20.1	掃除・洗濯	21.7
買い物	20.5	ゴミ出し	23.2	外出同行	32.7
移送サービス	33.9	見守り、声かけ	28.3	通いの場	17.7
その他	7.1	特にない	19.7		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的地域資源

サービス名	近隣の人をお願いしたいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	33.5	29.2
声かけ	32.3	32.7
外出同行	7.9	6.0
雪かき	31.5	13.3
庭の手入れ	12.2	7.3
ゴミ出し	14.2	14.0
買物	11.4	11.7
調理	4.7	5.4
掃除	5.5	14.0
着替え	3.5	2.2
季節用品の入替	3.5	3.2
電球交換	5.5	7.0
特にない(できない)	29.9	37.8
その他	2.0	3.2

第十四圏域（金井）

1 「金井地区」

(1) 地区の現状

表中()は市平均値

総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)	
15,648	4,546	29.1 (30.4)	2,216	2,330	51.3 (53.6)	
一般高齢者 (人)	事業対象者 (人)	要支援 認定者(人)	要介護 認定者(人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率(%)
3,846	91	134	475	13.4 (16.1)	201	4.4 (5.8)

令和5年1月5日時点

(2) 高齢者像及びビジョンの検定結果に係る項目からみた地域分析

指標となる項目		市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位	
		第十四圏域(%)			
高齢者像の 出現率	健康高齢者	14.2	15.9	8	
	介護予防事業対象者	77.7			
	サービス事業対象者	5.9	4.5	6	
一般 高齢者 の ビジョン	社会参加の視点	お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.5		
		参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.2	4
			66.2		
		生きがいがある	61.1	57.7	24
			57.7		
		週に何度か以上友人・知人と会う	33.4	30.1	26
			30.1		
		週二回以上外出している	81.7	85.2	7
			85.2		
		何らかの地域活動へ参加している	66.8	65.4	20
			65.4		
		①ボランティアのグループに参加している	13.8	13.9	17
	13.9				
②スポーツ関係のグループやクラブに参加している	20.2	21.9	9		
	21.9				
③趣味関係のグループに参加している	26.4	25.6	18		
	25.6				
④学習・教養サークルに参加している	8.0	7.4	14		
	7.4				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十四圏域(%)		
一般高齢者のビジョン	社会参加の視点	⑤介護予防のための通いの場に参加している	8.5	9.1	13
			9.1		
		⑥老人クラブに参加している	4.7	5.7	9
			5.7		
	⑦町内会・自治会に参加している	33.0	24.1	28	
		24.1			
	⑧収入のある仕事に参加している	27.5	26.7	21	
		26.7			
社会参加と生活支援・介護予防の両方の視点	階段昇降（手すりや壁を伝わらずに）している	63.4	61.9	19	
		61.9			
	椅子からの立ち上がり（何もつかまらずに）している	77.4	77.3	14	
77.3					
15分以上の歩行をしている	66.8	63.6	19		
	63.6				
介護予防・生活支援の視点	固いものが食べにくくなった	30.0	30.4	15	
		30.4			
	お茶や汁物でむせる	25.5	25.0	12	
		25.0			
	口の渇きが気になる	25.0	23.9	8	
		23.9			
	毎日歯磨きをしている	91.9	93.5	4	
		93.5			
	過去一年間で転倒していない	68.0	72.4	3	
		72.4			
	健康への関心がある	90.1	89.5	18	
		89.5			
	外出を控えている	25.9	25.3	13	
		25.3			
	外出を控えている （交通手段がない理由のみ）	12.7	15.7	23	
		15.7			
	月に何度か以上誰かと食事をする	78.2	79.8	10	
		79.8			
IADLの低下に該当	5.2	3.1	4		
	3.1				
知的能動性の低下に該当	12.5	13.1	17		
	13.1				
何らかの介護予防リスクに該当	84.3	83.2	10		
	83.2				
①運動器の機能低下リスクに該当	12.5	13.1	18		
	13.1				
②低栄養の傾向リスクに該当	1.0	0.0	1		
	0.0				
③口腔機能の低下リスクに該当	22.2	22.7	20		
	22.7				

指標となる項目			市内全域(%)	調査結果 (%)	地区 順位
			第十四圏域(%)		
一般 高齢者の ビジョン	介護予防・生活 支援の視点	④閉じこもり傾向リスクに該当	33.6	31.3	11
			31.3		
		⑤認知機能の低下リスクに該当	52.3	53.1	18
			53.1		
		⑥うつ傾向リスクに該当	45.1	42.3	3
			42.3		
	総合的な評価 指標	健康状態がよい（主観的健康感）	79.0	79.5	16
			79.5		
幸せと感じる割合が平均以上 （主観的幸福感）		61.8	61.5	17	
		61.5			
要 介護者等 の ビジョン	『本人』の在宅 生活の継続性の 確保の視点	介護保険以外のサービスを利用している	28.5	28.9	15
			28.9		
		訪問診療を利用している	18.2	16.7	19
			16.7		
		もしものときのために、家族や医療関係 者と詳しく話しあったことがある	8.8	9.3	14
			9.3		
		在宅生活を続けていくために訪問系サー ビスが必要だと思う	23.7	21.1	23
			21.1		
		人生の最期を迎える場所の希望がある	64.4	65.4	14
			65.4		
		適切な在宅介護生活の継続を実現している	75.2	72.4	19
			72.4		
	家族等『介護 者』の就労継 続の視点	不安に感じる介護は特にない	5.1	3.3	20
			3.3		
		認知症状に対する不安を感じる	25.8	22.0	7
			22.0		
		仕事と介護を両立できる	74.3	65.4	28
			65.4		
		介護を理由に離職・転職した	11.8	9.8	7
			9.8		
	『サービス提供 体制』の確保の 視点	参加者としての社会参加意向がある	62.2	66.2	4
			66.2		
		お世話役としての社会参加意向がある	36.0	35.5	14
			35.5		
		ボランティアのグループに参加している	13.8	13.9	17
			13.9		
		地域で支援できることがある	69.5	65.6	24
			65.6		
総合的な評価 指標	人生の最期を自宅・親族宅で迎えたい	29.5	28.0	18	
		28.0			

(3) 要介護者の在宅生活継続に係るニーズ

① 在宅生活を続けるうえで必要だと思う支援サービス

必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)	必要なサービス	割合(%)
配食	17.9	調理	17.5	掃除・洗濯	22.0
買い物	21.5	ゴミ出し	17.9	外出同行	29.7
移送サービス	29.3	見守り、声かけ	19.5	通いの場	11.8
その他	4.1	特になし	16.3		

② 住民主体の支え合い活動等に求められるニーズと潜在的な地域資源

サービス名	近隣の人にお願したいことの割合(%)	地域でできる支援の割合(%)
見守り	28.9	29.8
声かけ	26.4	31.5
外出同行	8.5	5.4
雪かき	31.7	15.6
庭の手入れ	11.4	12.2
ゴミ出し	11.0	13.1
買い物	8.9	11.9
調理	4.5	2.6
掃除	6.1	15.6
着替え	0.8	2.6
季節用品の入替	2.8	2.6
電球交換	5.3	9.4
特になし(できない)	29.7	31.8
その他	2.4	2.3

